

## おでかけワークショップ(まちオフィス美濃加茂) ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

### 1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(主催者・事務局を除く)

日時:2023年9月6日(月) 18:00~19:00

場所:まちオフィス美濃加茂

参加者(主催者・事務局を除く):11人



(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

### 2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆財源について

参加者)

新庁舎を建てる財源は何か。

市長)

市の税金や借金等の市の単独財源が基本となります。また、立地適正化計画内のエリアであれば、条件はありますが国からの補助がでる等、建物の内容によって補助金を加えることができます。

ただし、皆さんの税金がベースになるため、使い道を皆さんと考えていきたいと思っています。

参加者)

100億と60億の費用案を比較して、60億の案が採用された場合は、要するに余った40億は、他の事業に回せるのか。

市長)

新庁舎にかかるお金が圧縮されればされるだけ、他の予算に回すことは可能です。

前回計画の 60 億円という建設費が特別高かったかというところではなく、市役所と一緒に他の用途も作る作戦でありました。新庁舎はコンパクトにつくり、新庁舎以外の前平公園や中央体育館等、歴史を持ったスポーツ施設や図書館等、公共施設を今後どうしていくかに予算を使うこともできます。また、箱物だけではなく、こどもたちの給食費無償化や医療費等、予算は限られる中で使い道は様々あるので、どう予算を回していくかが大前提になります。

#### ◆現庁舎について

参加者)

今の庁舎はどうなるのか。

市長)

色々な選択肢があります。今の庁舎をリノベーションして使うことや同じ場所で立て直すこともできますが、どれ程の予算が必要となるか検討中です。

また、現庁舎は地震が起きた場合どうなるか、よくご質問を受けます。現庁舎は耐震補強が済んでいるため、地震でいきなり倒壊することはありません。しかし、熊本地震のような震度 6 以上の地震が連続で起こると、不具合が生じる可能性があります。こういった危機感がある中で、庁舎を直していくのか、作り変えるのか、作り変えるのであればどこにするか議論、整理という話が出てきています。

#### ◆コンセプトについて

参加者)

前回計画時も広く色々な議論があったと思います。自分も参加したが、ワークショップがあり、色々な年齢層へのアンケートや有識者会議、市議会での議論もあり、決して閉鎖的であったとは思いません。今回始まった再検討に、自分たちも参加してきたいと思っているが、いずれにしても聞いてないという人は出てくると思います。圧倒的な得票率で選ばれた市長が未来を描いていく中で、どんな庁舎であるべきで、どの場所に作りたいということを明確に打ち出しても良いと思います。最終的には行政が決めるので、求める機能やコンセプトのようなものを教えて頂きたい。

市長)

ワークショップを何のためにやるかということであるが、市民一人ひとりが人任せにしないで考えていく姿をこども達に見せていかないと、未来を担うこども達も人任せにしてしまうと思います。新庁舎という、市にとって大きな買い物をする機会を、市民の皆さんと考える機会としたいと思っています。

コンセプトについても皆さんと考えていきたいと思っているが、大事だと思っていることとしては、時代の流れにあったものをつくらないといけないと思っています。また、新庁舎ができた場所とその周りをどう発展していくかを考えなければいけないと思います。実際、全国の市役所をみると、市役所自体が賑わいを生む効果は少ないが、投資をする以上、どうすれば周りも一緒に活性化していけるかを考えたいと思っています。

#### ◆再策定の評価について

参加者)

前回と同じようなワークショップをやったり、同じようなステップを予定しているが、どれくらい今回は頑張ったのかをできれば数字で出してほしい。

市長)

前回の計画時、どこから皆さんと意見がずれてしまったのか、庁内で検証しました。構想段階では多くの人にワークショップ等に入ってもらっていましたが、最終的な決定に至り、計画を作る段階で市民の方々が意見を言う場が急に無くなりました。市役所としては、ここまで意見を聞いたから、この先は市役所で最善を決めていこうという覚悟で計画を作っていましたが、最終的にアンケートを取った際、場所や規模や予算の話でみんなの意見が全然通ってないのではないかと反対する人が結構いました。したがって、今回はアンケートを定期的にとり、常に市民の方々がどの方向を向いているか確認をしながら進めていきます。時間は多くないですが、アンケートやワークショップの結果がどうなっているか、数値的にも公表し、常に透明性をもっていかなければいけないと思っています。

市職員)

旧基本構想・基本計画の策定時もワークショップやアンケートを行っていましたが、コロナ禍もあり、参加者は少なかった実状もあり、昨年実施した市民アンケートでも、もっとたくさんの意見を反映する必要があるという声も頂きました。今回はワークショップで複数の意見を頂いて、アンケートでどの意見が市民の皆さん全体の意見として多いのか、統計的な根拠として示せるようにしていきたいと思います。

#### ◆投資効果について

参加者)

新庁舎を作るための、予算は損失だと言われていますが、仮に、投資だとした場合、税収の増加が効果になるかと思えます。そうなった時、年間どのくらいの税収が増加すれば、投資効果があったとできるのか、評価基準などありますか。

市長)

公共施設は一般的に「コストセクター」と呼ばれ、コストしか生まないと考えられています。ただし、成功した例として、地方にプロ仕様のバレーコートの体育館をつくったところ、毎週のように大学生が合宿に来るようになり、周辺にホテルができ、消費が増えた自治体があります。結果的に体育館の投資を 10 年程で回収しようと計画していたものが、3 年程で回収できました。しかし、公共施設の中でも投資効果を生まないと考えられているのが市役所となります。今、デジタル化で市役所に行かなくて良いまちにしていこうという流れがあることを考えると、お金の回収は難しいです。あい愛バスのように、バスの料金で投資回収するだけでなく、バスがあることで消費が増え、まちとしての投資効果を生むように、複合的な投資効果を作ることが目標となります。

参加者)

前回の計画で商業ビルと市役所を合わせていましたが、一緒に商業施設を建てたとしても市は潤わないと思えます。また、最近では民間の協力を得て、民間の建物を使わせてもらう動きもあると思えます。名鉄の神宮前の開発では、従来の駅ビルではなく、平屋のお店を複数つくるということを計画しており、すごく安価に建設できる事例もあります。税金をたくさん使って立派な建物を作っても、何十年後には足かせになるので、若い人たちが喜ぶとは全く考えられません。

市長)

民間の参画というのは本当に大事な話だと思います。同じビルでも民間が建てる場合と行政が建てる場合だと、行政は価格等すべてがオープンになることや、民間の付き合い等の理由で、民間の方が圧倒的に安くできることがあります。官民連携といった方法も考えていかなければいけないと思います。

また、全国的に再開発が進んでいる所を見に行くと、まちの中で一番良い場所に大きなビルを建てることはしていません。公園や子どもたちが遊べるような場所を作るなど、再開発のイメージは今どんどん変わっています。今までは高山に向かうお客さんたちが素通りしていた美濃太田駅にちょっと寄ってみようと思ってもらえるような地域・場所にもできると思うので、市民の方にも神宮の事例を見に行ってみたり、他の地域を見に行ってみる気持ちになってもらったりして、まちづくりの話をしていきたいと思っています。

#### ◆駅前再開発について

参加者)

駅前を大きく変えていくとなると、シティホテルをどうするかという問題があると思います。暗く、築年数も経っている建物ですが、毎年少なからず維持管理費が市から出ているのは明らかだと思うので、公園等、何かここから動き出すことで、シティホテルの西側エリアも動き出すことができると思います。民間側としても、新しいまちをつくりたいと思っていますが、大多数の地権者がシティホテルについて気にしています。

市長)

議会でもシティホテルについては話をしていますが、シティホテルの維持運営に年間約 4,000 万円を支払っており、今後は建物が古くなっていくので、もっとお金がかかることになります。このエリアにとって、シティホテルの場所が大事なのはわかっているので、エリアの方々からすると、この場所に何があってほしいか、どんな感じが良いかを西・東地区のみなさんとも考えていかなければいけないとお話しました。この地域以外の市民の方々にも面白そうと思ってもらえるよう先頭に立って考えなければならないと思っているので、皆さんと意見交換をしながら考えていきたいと思っています。

参加者)

自分のバレエ教室の生徒は幼稚園が終わった後に北口の方の公園へ遊びに行っているようだが、トイレが無いのか、トイレに行くために教室に戻ってくることがあるので、公園は需要があるのかなと思いました。また、生徒の多く電車でレッスンに来るが、周辺にコンビニが無いので不便だと思います。ただ、夜の飲食店等、人が集まるようになると、レオタードを着て行き帰りする生徒の治安を考えると心配だなと思います。

市長)

おっしゃる通りで、人が集まることは良いことだと思いますが、住んでいる方々はこれ以上増えてほしくない考える人がいて、ギャップがあったりしますよね。コロナの影響もあり、最近では自治会や地域で意見を言い合えていないことがあると思うので、ワークショップでも思ったことを言ってみるといい機会になると思っています。こういったご意見は大事だと思うので、ぜひ地域でまたやっていただいて、私たちも入らせて頂ければと思います。

◆新庁舎の立地について

参加者)

東京で働いている親戚の知り合いが美濃加茂市役所へ来たことがあるそうだが、公共交通機関からすごく遠いと言っていたそうです。都心の人からすると不便だと感じるのかもしれないと思いました。ただ、自分や地元の人からすると気にならないと思うし、あまり市役所に行かないので、どこに移転すると良いかは何が良いかかわからないと思います。

◆前回計画を白紙にした影響について

参加者)

前回計画で庁舎移転が計画されていた地域の代表だったので、3年前に、そろそろ立ち退かなければいけないので、次はどこへ移動するのか、商店の方はどうするか覚悟していただきと話をしていたのですが、計画が白紙になりました。実際、土地や家を探したりしていた中で、突然白紙となったので、その後説明がされず2年ぐらいが経ちました。特に契約があったわけではありませんが、庁舎移転が計画されていた、この地域の多くの人が市のやり方はどうなんだという気持ちがありました。

市長)

立ち退きの話は、表面に出てくる話ではない段階でしたので、事前にお話が進んでいたと思いますが、配慮が欠けていたのは確かだと思います。計画を見直すことについて、まだご理解を頂けない方もたくさんいらっしゃると思うので、しっかりと説明をしながら、この地域を市としてどうしていくか皆さんと今後考えていきたいと思っています。この点については、引き続きご協力いただけますよう、お願い申し上げます。本当に色々ご迷惑をおかけしまして、申し訳ありません。

◆外国の方への意見聴取について

参加者)

ワークショップや、市民のアンケート等を参考にしたとありましたが、その中に、外国人の割合はどのくらいありますか。

市長)

7月下旬に開催した第1回ワークショップにはみえませんでした。昨年度行った4000人を対象とした市民アンケートは、外国人の方も対象に入っています。

外国人の方と一緒に住んでいるまちなので、日本人の意見だけでなく、外国人の方の意見も取り入れて、まち作りをしていくのが1番良いと思っています。美濃加茂市は製造業等が多いので、毎年、外国人の割合も増えています。課題としては、地域のコミュニティにおいて、外国の方と中々距離感があるかと思っています。この後、外国人のコミュニティの方とお話する機会があるので、こちらからもどんどんまちについての話題を投げて行こうと思っています。若い皆さんの感覚からすると、国際化は当たり前だと思うので、そういったご意見をぜひいただければと思います。

◆他市の事例について

参加者)

色々な場所に視察に行かれたと思いますが、その中で、こういうところよかったなというのがあれば、教えていただきたいです。

市長)

新庁舎の例として、撤退したデパートをそのまま借りる、撤退したドラッグストアの後に入る、民間が建てた所を間借りするという、お金をかけない良い事例等があります。

いなべ市では、アウトドア施設の横に市役所があり、平日は市役所職員のための駐車場ですが、土日はその隣にあるアウトドア施設のお客さんのための駐車場になります。美濃加茂市庁舎の駐車場は、土日使われていません。生涯学習センターの利用者が使ってはいますが、使われていないスペースをどのように、土日と平日で使い分けるか、工夫ができると思います。

再開発について、参考となる代表例が、東京駅です。昔はゴミゴミしていたそうですが、今は皇居側に出ると広場になっています。当時は駅を出て1番前の地価の高い場所を誰が買うのかと議論になったそうですが、あえて売らずに広場にしました。そうすると、その広場の周りが良い場所になってくるので活性化しました。こういった、一番良い場所に広場をつくって、その周りにお店やホテルを建てていくというような事例が良いのではないかと思います。加えて、東京駅は車が駅の前まで入れず、歩行者優先になっています。子供連れとかお年寄りとか私たちも、車を無視して歩くことができるようになっていて、土日にイベントができたり、色々な使い方ができるようになっています。あと、最近、この辺りだと、岡崎市がすごくまちづくりがうまくいっています。公園リノベーションがうまくいっていて、公園をすごく良い場所に作ったことや、橋自体を公園にしています。事例紹介になってしましますが、もしよかったら、岡崎とかに遊びに行ってもらおうと、まちづくりの成功例がみてわかると思います。職員さんたちもこういった研究をしているので、一緒になって見学ツアーとかも良いと思います。結構、市の職員さんは色々な場所に足を運んで、皆さんからどんな質問があっても答えられるように、すごく勉強を繰り返していますので、聞いていただければと思います。

#### ◆その他

参加者)

ここは、まちベンチというところで、3年前くらいに皆さんと作ったスペースです。私は名古屋から週2、3回は美濃加茂に来ていますが、美濃加茂には市役所の方々も地域の方々も含め、すごく良い方がいて、まちベンチのメッセージにもあるように、本当に思いを持った方々がいらっしゃいます。日本全国に行っていますが、人の良さが飛び抜けていると思います。

一言だけ言いたいのは、こういう話はネガティブな話になりがちだと思います。もっとポジティブに、こんなことやりたいとかを話して、暗い会を無くしたいと思っています。例えば、市長ではなく、藤井浩人さん個人としてこんなことやりたいと言っていいと思います。外の人間としても美濃加茂が大好きだから、すごく思います。こんな良い人がいるのであれば、こんなまちになってもらいたいな、そうすれば毎週、毎日、来るのになと思っていますし、もっと大好きな人が美濃加茂に来てもらえるようにしてもらいたいなと思っています。

市長)

前の計画の時に最後大変だと思ったのは、反対派の人ばかり来て、行政との議論ではなく、一方的な説

明会になってしまったことです。そこに入りこんでしまうと、なかなか出られなくなりました。市長、職員として、こうしなければならないというものはありませんし、職員さんたちも、1番市民の方が喜ぶことはこうかなと思って考えていますが、市民の方々が全然そんなの思っていないよという、ずれが出てしまいます。正直、考えることは、めんどくさいことですが、ここから逃げて後から反対することはやめた方が良いでしょう。子供の頃、親に任せているのに、親がやることに対して文句を言うと、親はいい気しないですよね。それと一緒に、僕ら自身が、僕も一市民としてこうありたいと意見は言いたいですが、立場は逃げられませんので、僕が言うのは最後でいいかなと思っています。僕の一意見よりも、5万7千人の皆さんの意見こそ、もっと口を開いて、想いを出していけるような雰囲気づくりをしていくべきだと思います。色々と暗い雰囲気になってしまったのは、反省点だと思っています。次からは意見が活発にできるようなものにしたかなと思っています。

市民の方も行政の方も、言いにくいことをもっと言って、ぶつけていけるような環境を作っていない前には進めないで、言いたいことは言う。そしてスッキリして、今日であればまちのことを考えているので、まちのことを思って、時には相手にとって嫌な思いをさせるかもしれないけど、言うことでより良い、話し合いができてくると思います。これはこれで楽しいだけでなく混沌とするような会議もあっていいと思います。だから、市役所のこの新庁舎整備のワークショップはできるだけ参加しようと思っています。当然、その中には厳しいご意見もあると思いますが、我々、覚悟していますので、本音を話しながらも、最終的には皆さんに笑ってもらえるような会にしていきたいと思っています。

#### ◆その他

参加者)

私は東京大学の学生ですが、出身が岐阜の池田町というところで、結構ゆかりも近いのでこの事業も好きになったのですが、美濃加茂市に1つ感じているのは、行政と市民の方の距離がすごく近いかなと思っています。市役所の人とお話しながらこういうことができ、すごくいい環境だと思うので、どんどんワークショップのような会話をさせてもらえればと思っています。

駅前の再開発に興味がありますが、物を作って終わりにしたくは無いですという思いがすごくあります。駅前にコミュニティスペースを作って終わりだとか、庁舎を移転して終わりみたいなことではなくて、人がそこでどうやって活躍できるのか、どうやって生きていくのかっていうところまでもっと踏み込んで話していけたらいいと思います。こういう場は大切にしていきたいなということを準市民としてと思っています。

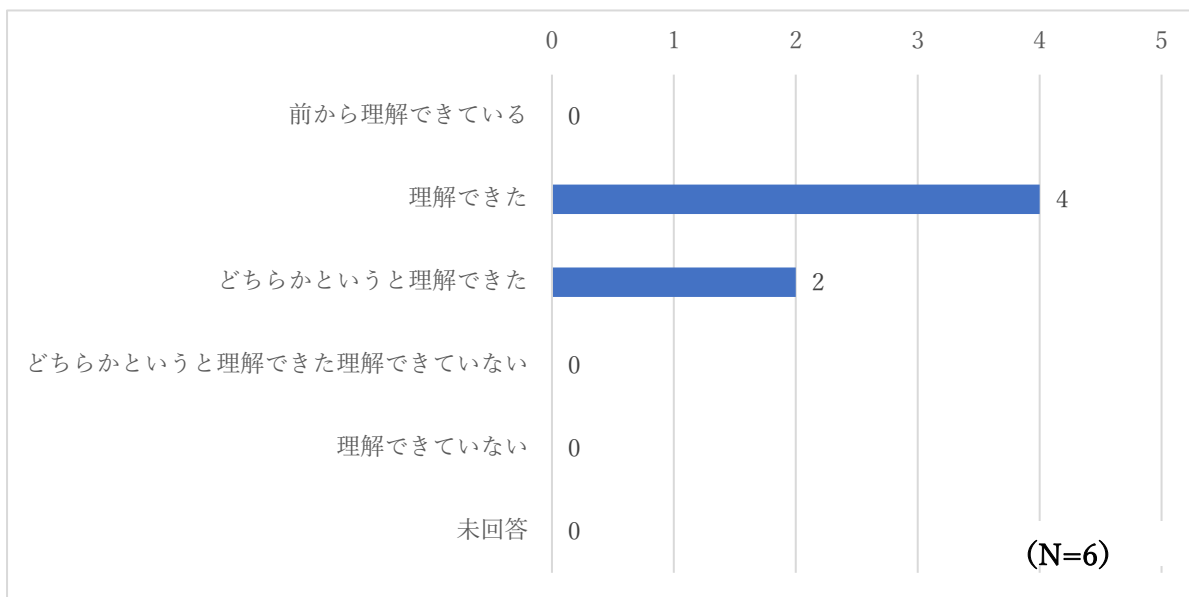
(2)アンケート結果の概要 ※回答者数 6名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、次いで「どちらかという理解できた」が続いた。

	回答者数【N=6】
前から理解できている	0
理解できた	4
どちらかという理解できた	2
どちらかという理解できた理解できていない	0
理解できていない	0
未回答	0
合計	6

図表 1 新庁舎整備の理解について





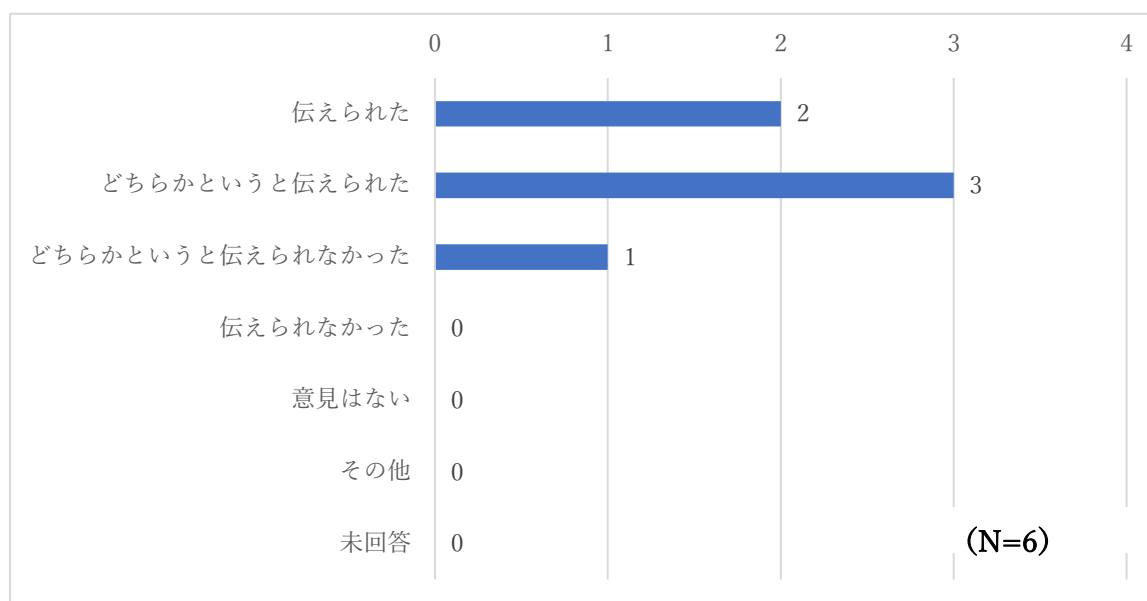
問2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「どちらかという伝えられた」が最も多く、次いで「伝えられた」が続いた。

「どちらかという伝えられなかった」という意見もあった。

	回答者数【N=6】
伝えられた	2
どちらかという伝えられた	3
どちらかという伝えられなかった	1
伝えられなかった	0
意見はない	0
その他	0
未回答	0
合計	6

図表 2 新庁舎整備への意見を伝えられたか

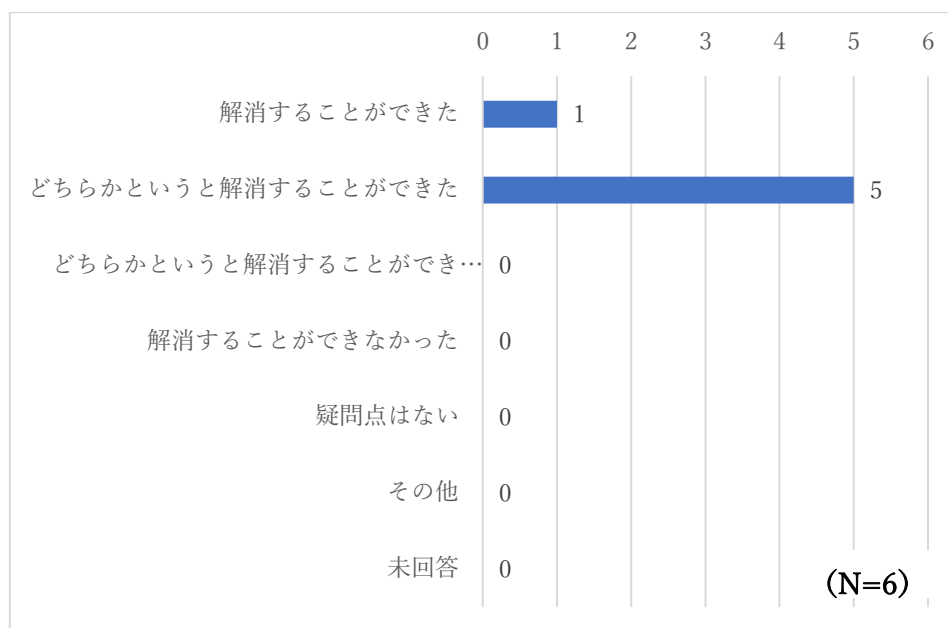


問3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというとは解消することができた」という意見が最も多く、次いで「解消することができた」という意見だった。

	回答者数【N=6】
解消することができた	1
どちらかというとは解消することができた	5
どちらかというとは解消することができなかった	0
解消することができなかった	0
疑問点はない	0
その他	0
未回答	0
合計	6

図表 3 疑問点の解消



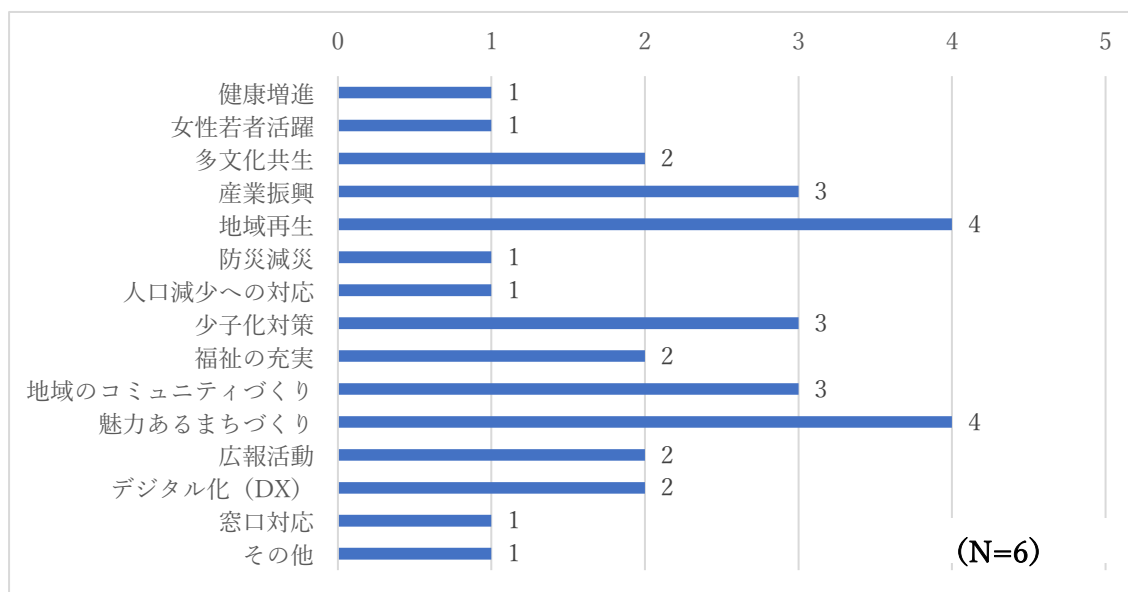
問4.「市の役割」として何が思い浮かびますか？(複数回答)

「地域再生」「魅力あるまちづくり」という意見が最も多く、次いで「産業振興」「少子化対策」「地域のコミュニティづくり」が続いた。「その他」で市民生活の安全、治安が悪い地域があるという意見もあった。

	回答者数【N=6】
健康増進	1
女性若者活躍	1
多文化共生	2
産業振興	3
地域再生	4
防災減災	1
人口減少への対応	1
少子化対策	3
福祉の充実	2
地域のコミュニティづくり	3
魅力あるまちづくり	4
広報活動	2
デジタル化(DX)	2
窓口対応	1
その他	1
合計	31

※複数回答有

図表 4 「市の役割」について



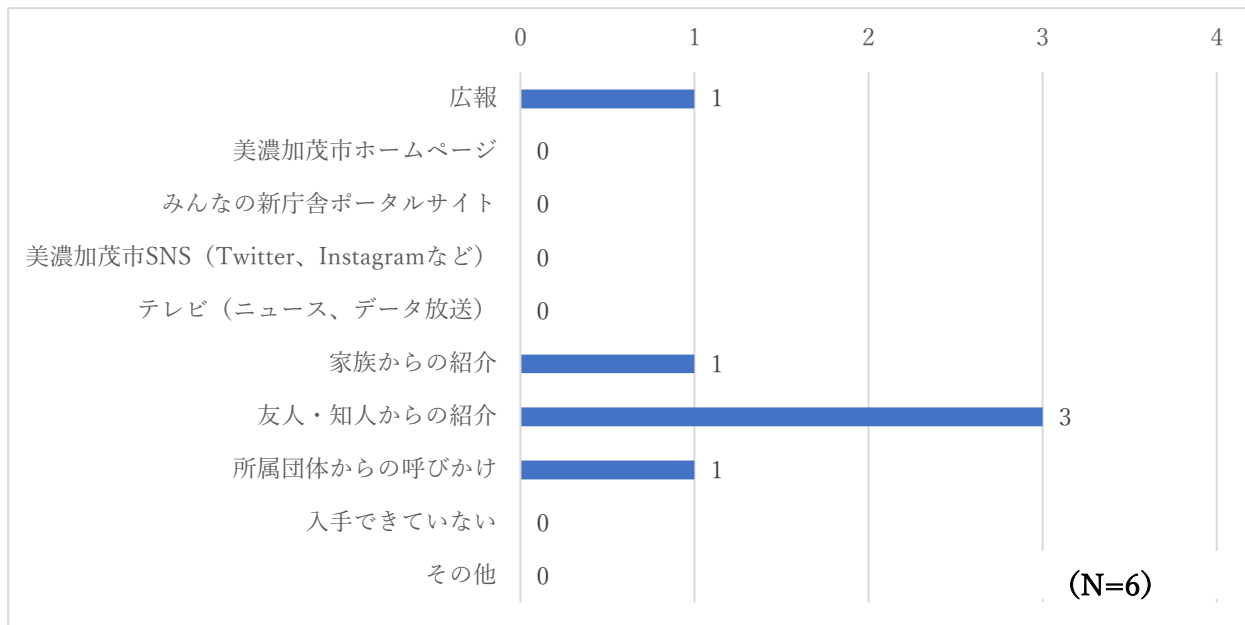
問 5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「友人・知人からの紹介」が最も多く、次いで、「広報」「家族からの紹介」「所属団体からの呼びかけ」が続いた。

	回答者数【N=6】
広報	1
美濃加茂市ホームページ	0
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	1
友人・知人からの紹介	3
所属団体からの呼びかけ	1
入手できていない	0
その他	0
合計	6

※複数回答有

図表 5 新庁舎整備に関する情報の入手方法



問 6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

- ・大きな施設は不要ではないかと思う
- ・過剰な予算をたてず、柔軟に考えで、進めてもらいたい
- ・本日はありがとうございました。今日、駅前のワークショップに参加させていただき、参加者の方々の熱量を感じました。ただ、市長の民意をとという言葉ですが、私は駅前で商売をやっていますが、住まいは市内の別地域です。住んでいる地域で、「新庁舎」というワードは全く話題に上がることがないので、もっとそうした地域も巻き込んでください。